

北海道百科直轄分会 第10期（2022・2023年度）の振り返り

【 第10期後半年度（2023年度）のトピックス 】

事業会社の動向

- ・ 2023年度は新規出店が2店舗続き売上を40億円まで伸ばしと事業拡大しましたが、黒字・営業利益予算の達成には至らず
- ・ 2024年度は2年ぶりの黒字化に向けて売上苦戦店舗の家賃減額、人件費の適正化を行い収益構造の見直しを図る

支部の動向

- ・ ステージBの評価制度の再構築、人事賃金構成の変更、アシストスタッフの評価制度の見直しなど人事賃金制度の基盤整備
- ・ 労働福祉ビジョンを策定し、5年後のあるべき姿の実現に向けて2024年度の通年協議項目に反映

【 第10期運動方針の考え方 】 ※第10期運動方針再掲

テーマ：『みんなの声を繋げ、未来を切り拓く』

- ・ 中期計画を進めることで、2024年には、売上50億円、営業利益2.5億円の達成を目指しています。中期計画達成へ、メンバーのモチベーションが上がるよう、労働条件向上へ協議を行っていきます。
- ・ また、北海道百科のメンバーが増えたことで、今まで以上にコミュニケーションを活性化させ、連携を密に行っていく必要があります。必要になってくることは、メンバー一人ひとりの声を繋ぎ合わせ、業務コミュニケーションを活性化させることだと考えています。
- ・ 第10期は、皆さんの声を繋ぎ合わせ、中期で掲げる大きな目標の実現へ、「労働条件の向上」、「職場風土改善」に向けた具体的な労使協議や活動に取り組みます。
- ・ 従業員同士がお互いの業務、店舗ごとの取り組みなど、従業員同士の双方向理解が進む取り組みを進めています。
- ・ 従業員間の双方向理解が進み、業務コミュニケーションが活性化することで、中期計画の精度を向上させるための業務の環境づくりの取り組みを推進します。

【 活動の振り返り 】

全体の振り返り

- ・ 労働福祉ビジョンを策定し、5年後のあるべき姿の実現に向けて2024年度の通年協議項目に反映
- ・ 毎月の評議員会では通年協議中心の議論となり、VOICEサイクルを回す活動の実施には至らず

◎：できたこと

- ・ 職場課題の抽出へ働き方アンケートを1回実施
- ・ ステージBとアシストスタッフの人事賃金制度改定
- ・ 職場内のコミュニケーション促進を目的に団結会を実施
- ・ グルメセミナーは評議員と連動し年2回計画通りに実行
- ・ ステージB人事賃金制度改定の理解浸透を目的にテーマ別VOICEを1回実施

△：やりきれなかったこと

- ・ 働き方アンケートで抽出した課題を基にしたテーマ別VOICEの実施には至らず
- ・ 本社の団結会を優先してスケジュール調整を行い、団結会を開催したたま遠隔地懇親会の実施には至らず
- ・ 1on1でVOICEを行なう直営店を中心にLINE会員獲得を行い16名増加LINE会員登録34%まで伸ばすも目標とするLINE会員50%には至らず。

【 第10期後半年度（2023年度）支部活動費の執行について 】

予算	実績	執行率
600,000円	379,484円	65.1%
・ 北海道百科直轄分会の執行率は65.1%となりました。札幌近郊のメンバーを対象にした団結会を5年ぶりに実施され、従業員交流の機会創出へサポートを行いました。遠隔地懇親会については、春の交渉VOICEの際に実施予定でしたが、日程調整がつかず実施には至りませんでした。		

北海道百科直轄分会 第11期（2024・2025年度）運動方針（案）

第11期運動方針策定テーマ

北海道百科で働くメンバーの声を「つなげ」「つながり」を深める！

<第11期運動方針にあたって考え方・ありたい姿>

- ・ 中期計画を推進され、きたキッチンが垂直統合され北海道百科の2年間で15億円売上を伸ばし、2023年度は40億円を越える売上を達成しましたが黒字、営業利益予算の達成には至りませんでした。
- ・ 2024年度の黒字化、2025年度以降の黒字安定化に向けて、メンバーが北海道百科の経営動向に関心を持ち、業務に取り組む必要があります。北海道百科に勤めるメンバーが会社の将来像を理解し、ありたい未来の実現へ行動変容につながる活動を兼任役員と連携して行います。経営との対話の機会を設けることで会社が見据える将来像と現場のギャップを埋める取り組みを進めます。
- ・ 経営との対話や福利厚生・共済会情報の発信を定期的に行います。広報誌を起点にした情報発信を行い、北海道百科のメンバーと双方向コミュニケーションが取れる体制を構築することで、意見集約の質を高めます。
- ・ 11期の2年間を通して、兼任役員とVOICEサイクルを回せる状態を確立し、経営とメンバー・メンバー同士が活発にコミュニケーションを図れる環境づくりを行います。
- ・ 円滑なコミュニケーションを推進することで北海道百科が掲げるビジョンの実現に近づきます。ビジョンを実現に近づくことが2024年度に策定した労働福祉ビジョンにて掲げた「生活基盤が構築される処遇の実現」と「ライフワークの充実」に繋がります。
- ・ 北海道百科で働く従業員が一丸となって、働く環境をより良くしていく為の取り組みを進めていきます。

北海道百科VOICEサイクルイメージ



北海道直轄分会 第11期（2024・2025年度）運動方針（案）

【 取り巻く環境 】

- ・ 日本の国内消費は、インバウンド消費の追い風もあり、回復傾向にあります。
- ・ 北海道百科においては、2023年度に直営店が2店舗増え、売上は40億円を越える規模で売上げを伸ばしています。
- ・ 2024年度は、売上の拡大と収益改善を行い、黒字転換を目指しています。

【 重点取り組み（具体的な活動） 】

経営対策・労働福祉活動

- ・ 経営懇話会を毎月1回実施し、年度計画の進捗や業績の確認、通年協議、職場課題の議論を実施
- ・ 経営懇話会前に労使部会を設定。兼任副執行委員長に参加してもらうことで、現場課題の改善に向けた協議を進める
- ・ 兼任役員と経営との対話の機会を創出、会社の将来像と戦略を推進する上でのギャップを埋める取り組みを推進。兼任役員と経営との対話機会を半期に1回実施する
- ・ 労働福祉VISIONを通年協議に反映させ処遇の向上、働く環境の整備に向けた協議を推進

VOICEサイクル

- ・ 働く環境整備、2025年からの所定労働時間短縮に向けて所属毎の課題抽出に向けて、北海道百科全従業員を対象に働き方アンケートを実施。アンケート内容を評議員会で議論し、現場課題について経営との対話（経営懇話会・社長対談（仮））で意見提言に繋げる。対話内容は百科事典にて情報発信を行なう。

広報活動

- ・ 北海道百科の本社の役割見える化へ毎年発行している従業員名簿とあわせて、本社の職場紹介を実施する
- ・ 北海道百科事典を経営との対話、グルメセミナーの利用促進、共済会制度、福利厚生など従業員と双方向コミュニケーションのツールとして4半期に一度の定期発行を行なう
- ・ 既存制度の周知活動を目的にLINE会員獲得に取り組む。LINE会員50%以上の登録を目標に組合役員（副執行委員長・評議員・職場委員）と連携して、登録キャンペーンを実施。

その他の活動

- ・ 教育サポート：北海道の食を学び機会として、グルメセミナーを年2回開催
- ・ 教育サポート：VOICEサイクルを推進する上で必要となる「聴く力」を高める役員教育を札幌丸井三越支部と連携して実施
- ・ レクリエーション：北海道百科での交流の機会創出へ札幌での団結会のサポートを行なう
- ・ 現場活動：本州直営店では、交流の機会として遠隔地懇親会を実施

【 第11期前半年度（2024年度）支部活動費予算について 】

予 算	前期実績	前期比
600,000円	383,984円	156.4%
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算規模は昨年と同水準に設定しています。遠隔地懇親会については、事前の計画を立てて春交VOICEの際に各地域にて実施 ・ 従業員下院の交流機会の創出へ会社が主催する団結会のサポートを年1回行なう。（6万円） ・ 教育活動のサポートとして、「年2回北海道の食を学ぶグルメセミナー」を実施。（3万円×年2回＝6万円） 		